



当たり前前を当たり前前

校長 尾崎 淳一

先日の3年生の三者懇談期間と推察しますが……。

午後、竜北中学校の女子生徒数名が、中央公民館の共有スペースで……。

先週、市内在住の某（なにがし＝名前などがはっきり分からない人）様から、学校にメールをいただきました。私は、ここまで読むと、「はあ…」と深くため息をつきました。この先の展開が、だいたい想像できたからです。自転車の乗り方や公園の使い方について、竜北生を見守ってくださる皆様から、時折ご指導をいただきますが、どうやら今回の舞台は中央公民館のようです。本当に竜北生だろうかと疑念は湧きますが、私は校長として目を背ける訳にもいかず、恐る恐る続きを読むことにしました。

午後、竜北中学校の女子生徒数名が、中央公民館共有スペースで学習に励んでいました。

時折、「声が大きいな……」と感じてしまう中高生がいますが、……。

そうですね。きっと悪気はないのだけれど、3、4人集まると声がだんだん大きくなるものです。それでも、周りの方々に迷惑を掛けるのはいけません。勉強するためにわざわざ中央公民館まで足を運んでいるのであれば、なおさらのことです。本当に竜北生だろうかと疑念は強まりますが、私は校長として現実から目を背けず、さらに読み進めました。

時折、「声が大きいな……」と感じてしまう中高生がいますが、その女子生徒たちは非常にまじめに頑張っていました。確かに、紺色に赤ラインの竜北ジャージの生徒でした！

そういう姿を見ると応援したくなりますし、元氣をもらえます。素敵な姿でした。ありがとうございました。

さすが竜北生。素晴らしい姿に、私のため息は遥か彼方へ飛んでいきました。目を背けることなく、最後までメールを読み終えてよかったです。ドラマのような展開ですね。

『当たり前前を当たり前前にやるのが一番難しい』と言われますが、昔から多くの偉人が、これと同じ意味の名言を残しています。古くは室町時代初期の世阿弥さん、最近ではプロ野球の落合選手などです。偉大な人は、平凡なことをこつこつとやり遂げて、「非凡」を手に入れたのでしょう。メールに登場した「竜北中学校の3年女子生徒」が誰か、今のところ情報はありません。しかし、「静かにするところでは静かにする」「勉強するときは勉強をする」という、簡単そうで難しいことをしっかりできるのですから、入試等においても実力を発揮し、必ずや望んだ結果を手に入れられることでしょう。メールをくださった某様と同様、私も素敵な竜北生を応援しています。

以前もお伝えしたように、寒風の中でも、本校庭園の梅の木は多くの花や蕾をつけています。梅の花言葉には「忍耐」「不屈の精神」があるそうです。この寒い時季に花を咲かせることは、当たり前前に見えても、「忍耐」「不屈の精神」が必要なことなのでしょうね……。梅は咲いたか、桜はまだか……。『凡事徹底』でサクサク。春は確実に近付いています。「竜北生、Go!!」



再び、インフルエンザ流行の兆しが見られます。コロナ禍では流行しなかったことを思い返し、「手洗い・うがい」「換気」「マスク着用」などの予防策を意識したいものです。

（令和8年1月30日）